

ROGER BOOTLE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Group Chief Economist at HSBC (1989-1998)



Roger Bootleはヨーロッパで最も有名なエコノミストの一人であり、世界最大の独立系経済学コンサルタント会社の1つであるCapital Economicsを運営しています。

ブートルは以前HSBCのグループチーフエコノミストであり、前保守派政権下では首相の独立経済顧問委員会の1人、いわゆる「ワイズメン」に任命された。2012年、BootleとCapital Economicsのチームがノーベルに次いで2番目に大きな経済学賞を受賞したWolfson賞を受賞したことが発表されました。

ブートルは金融経済学に関する多くの記事と数冊の本を書いています。「ヨーロッパとのトラブル」は、報道関係者からも政治家からも高く評価されています。改訂版のペーパーバック版には、大量移動、スコットランドのナショナリズムの影響、ギリシャの危機、そしてECBが直面する政策の難問に関する新しい資料が含まれています。それは、最近の金融危機の深刻な原因を分析し、それから生じる資本主義への脅威を論じる「市場とのトラブル」に続きます。金融危機を正しく予想していた彼の以前の著書『"Money for Nothing"』のように、それは広く称賛されています。それは「インフレーションの死」の成功に続き、それはベストセラーとなり、その後9つの言語に翻訳されました。Bootleは、「Theory of Money」という本と「Index-Linked Gilts」の共著者でもあります。

Bootleはテレビやラジオで頻繁に出演し、The Daily Telegraphの常連コラムニストでもあります。The Comment Awards 2012では、彼はその年のEconomics Commentatorに選ばれました。同じ年、彼はユーロ圏の崩壊を組織化するための最も混乱の少ない方法を見つけたことでWolfson賞を受賞しました。

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics